

おつかれさま旧庁舎 解体へ

工事請負契約

●旧庁舎解体工事

解体する建物は、本庁舎、庁舎裏側の産業推進室が使用の建物、公用車の車庫、庁舎西側の水道倉庫、

庁舎駐車場前の保健衛生係と地域包括支援センターが使用の建物、及び外構関係。

工事着手は1月15日からの予定。



手前中央の旧庁舎（こしに新庁舎（矢印先）が（保健福祉センター屋上より）



庁舎の高台移転に伴い解体される旧庁舎（1月3日）

- 契約金額 5832万円
- 契約先 黒潮町伊与喜43番地5、(株)土居建設
- 工期 平成29年12月15日から平成30年3月29日
- 可決（全員）

工事請負変更契約

乳児安全柵や 遊具を追加

●新佐賀保育所（仮称）新築工事（建築主体）

本工事は、(株)土居建設が施工中の黒潮町立新佐賀保育所（仮称）新築工事（建築主体）。変更理由は、乳児安全柵、遊具の追加による増額、及び園庭舗装の変更による減額により、826万円を増額するもの。

- 請負金額
- 変更前 2億1076万円
- 変更後 2億1902万円

Q 宮地 葉子議員

保育室内に安全を考慮して可動の安全柵や、2・3歳児保育室に可動式の間仕切り家具の追加やブランコ、太鼓橋、鉄棒、すべり台などの遊具の追加も、最初の設計時で検討できなかったのか。

A 畦地 教育次長

乳児安全柵は、当初、保護者や職員からヒアリングをして設計したが、当初の設計で問題視されてなかった部分について、施工の段階でより安全性を高めたという現場の意見を反映させて追加した。

また、間仕切り家具については、新佐賀保育所は定員70名の予定だが、年齢により受持人数の変動が大きいので、広い部屋を仕切る形でより柔軟に年齢別の保育室の編成が出来るように可動式で仕切れ

るようにした。

遊具の追加は、この場所がかつて伊与喜保育所として使用されている当時、子どもたちが樹木の生えた山の斜面の自然形状を利用して遊んでいたとのことで、同様に遊び場として活用したいとの要望があり、既製の遊具等の検討をしていなかった。その後、工事を進める中、有害鳥獣などのリスクが考えられ、議論を経て既製の遊具の設置を現況に合わせた形で追加することとした。



新築工事が進む新佐賀保育所（仮称）。写真中央部には伊与喜小学校の体育館が、その奥側には伊与喜地区の集落が望める（1月13日）